

長久手市行政評価票

事業番号	16	事業の名称	長久手市観光交流推進事業補助金		担当部署	部	課					
						くらし文化部	たつせがある課					
基本方針	(2)リニモでにぎわい交流するまち	分野別項目	(10)にぎわいあふれる新たな観光交流を進める	施策の進め方	(1)魅力の創出、(2)魅力の発信	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	新たな観光交流のにぎわいを作るため、観光施設や事業者、各種団体、行政等が観光資源の紹介や宣伝、催事等に参加することで、観光交流人口の増加、市の活性化を目指す事業に補助する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	本市の観光交流推進会議の役割にあたる団体として他市町では観光協会を設置している場合が多い。しかし、その運営主体は多くの市町が行政主導で行っている。						
事業期間	事業開始年度	平成17年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費(単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象(だれ、何に対して)	市内外の住民					うち	一般財源	12,700	12,661	11,200	10,569	6,500
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	本市を訪れる観光交流人口を増加させる。					国費・県費						
						地方債						
					その他	1,500	1,505	1,500	1,295	1,500		
					受益者負担額	800	690	800	695	800		

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する事務事業	対象(だれ、何に対して)	目的		事務事業の実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段(いつ、どのような手段を使って)	意図(対象をどのような状態にしたいか)			H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳(単位:千円)	評価	評価の説明
① イルミネーション事業(「ながくて冬まつり」)の実施	市内外の住民	観光交流推進会議員に、公募の市民も加えた実行委員会を立ち上げ、企画・広報・イルミ協働の各部会で実施に向けた検討を行うこと	本市を訪れる観光交流人口を増加させる。	実行委員会7回開催 各部会計11回開催	事業参加者(来場者及びイベント参加者)	H25実績	—	人	集計済みのH24年度実績(2,100人)より10%増加	H25予算	6,500	事業費5,415千円 イルミネーション購入費677千円 事務費173千円	A	市の事務局主導の運営主体から実行委員会が主体となった運営への見直しを図り、実行委員会へ事務局事務を一部移管した。今後は事業収入の増加を図り、市の補助金に依存した運営からの脱却を目指す。
						H26実績	2,800			H25決算	6,522			
						H26目標値	2,300			H26決算	6,265			
② プロモーション事業	市内外の住民	HP, Facebookの定期的な更新、ガイドブック等の作成、雑誌掲載への協力等を行うこと	本市を訪れる観光交流人口を増加させる。	HP, FB更新 パンフレット類作成 雑誌掲載等	観光交流人口	H25実績	358	万人	集計済みのH24年度実績(355万人)より5%増加	H25予算	3,500	HP管理更新委託837 ガイドブック作成415 グルメマップ作成486 KELLY掲載432	C	HP, FBの更新、パンフレット類の作成を積極的に行った。今後はより効果的なプロモーション事業を実施するため、観光PR事業と統合し実施する。
						H26実績	372			H25決算	3,444			
						H26目標値	370			H26決算	4,674			
③ 観光PR事業	市内外の住民	情報紙(季刊発行)の発行やスマートフォン向け観光情報アプリの検討等を行うこと	本市を訪れる観光交流人口を増加させる。	観光情報紙作成、スマホ向けHP作成、情報発信スタッフ委託	観光交流人口	H25実績	358	万人	集計済みのH24年度実績(355万人)より5%増加	H25予算	4,200	観光情報紙作成200 スマートフォン向けHP作成410 情報発信スタッフ委託315	C	観光情報紙やスマホ向けHPの作成を実施した。今後はより効果的な観光PR事業を実施するため、プロモーション事業と統合し実施する。
						H26実績	372			H25決算	4,200			
						H26目標値	370			H26決算	925			
④														

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	②	プロモーション事業		
③	観光PR事業	プロモーション事業と観光PR事業と分けて実施していたが、連携することによる相乗効果が期待できる両事業であるため、H27年度は両事業を統合し、より効果的かつ効率のよい事業を実施する。		